

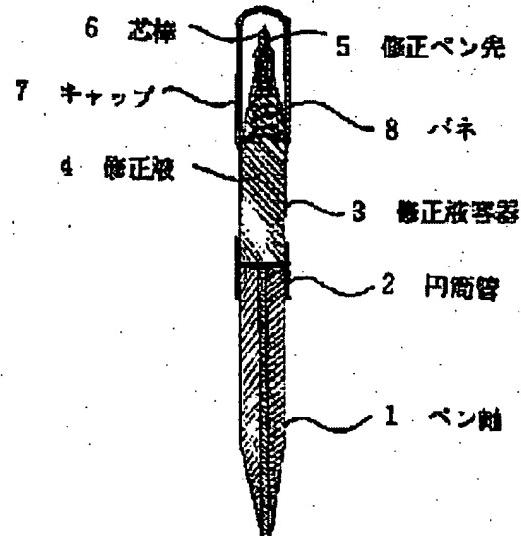
# PEN WITH CORRECTION FLUID

**Patent number:** JP8282187  
**Publication date:** 1996-10-29  
**Inventor:** KATO HIROHIKO  
**Applicant:** KATO HIROHIKO  
**Classification:**  
 - international: B43K29/05; B43L19/00  
 - european:  
**Application number:** JP19950124171 19950413  
**Priority number(s):**

## Abstract of JP8282187

**PURPOSE:** To realize the easy hiding of correcting part at the correction of character or the like by oozing correction fluid out of a correcting pen point through the knocking of the correcting pen point in a correction fluid container provided at one end of a penholder.

**CONSTITUTION:** A penholder 1 and a correction fluid container 3 are inserted in a cylindrical pipe 2 made of plastic rubber, metallic material, polyethylene or the like and adhered by adhesive. In a correcting pen point 5, a hole for oozing correction fluid out is bored so as to insert a wick 6. By the action of a spring 8 provided at one end of the wick 6, the wick 6 is revealed from and immersed in the hole of the pen point 5. When correction develops in writing, by pressingly knocking the wick 6 revealed from the correcting pen point 5 against correction part, the spring 8 is compressed and the wick 6 is pushed in the pen point 5, resulting in oozing the correction fluid 4 with the pen point 5, the character to correct is hidden.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-282187

(43)公開日 平成8年(1996)10月29日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

B 43 K 29/05

B 43 L 19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 43 K 29/20

B 43 L 19/00

B

G

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全3頁)

(21)出願番号

特願平7-124171

(22)出願日

平成7年(1995)4月13日

(71)出願人 595073144

加藤 裕彦

神奈川県横浜市港北区高田町1669-1番地  
第2セリタビル304号

(72)発明者 加藤 裕彦

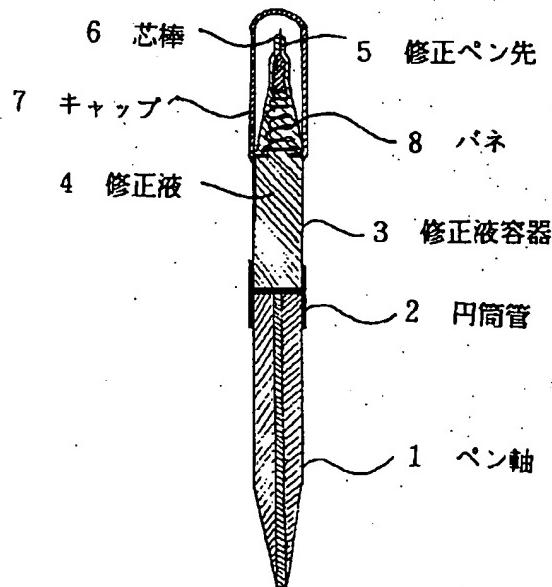
神奈川県横浜市港北区高田町1669-1番地  
第2セリタビル304号

(54)【発明の名称】 修正液付きペン

(57)【要約】

【目的】 ペンで筆記した際の文字修正に関し、別途に修正用具を容易することなく簡便に行えるようにするための修正液付きのペンを提供する。

【構成】 ペン軸(1)の一端に修正ペン先(5)をノックをすることにより修正液(4)がしみでる機能をもった修正液(4)の充填された修正液容器(3)を設ける。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】水性インクペンあるいは油性インクペン(以下これらを「ペン」と総称する。)のペン軸(1)の一端に、修正液(4)の充填された修正液容器(3)を有し、その修正液容器にあるベン先(以下「修正ベン先」と称す。)をノックすることにより、修正液が修正ベン先(5)よりしみ出ることを特徴とする修正液付きペン。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、筆記用具と文字の修正する修正用具の両方の機能を兼ね備えた、修正液付きペンに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、ペンと修正用具とは別個の用具として販売され、使用されていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】このため、筆記の修正が生じた場合には、別途に修正用具を用意せねばならぬという問題があった。そこで、本発明は修正用具を別途に用意する必要なく、その場で簡単に文字の修正ができるようにするため、修正液付きペンを提供するものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】ペン軸(1)の一端に、修正ベン先(5)を押しつけることにより修正液(4)がにじみ出る機能を有した修正液容器(3)を取り付ける。

## 【0005】

【作用】本発明を使用するにあたっては、筆記の場合は従来のペンのように筆記用具の部分を使用する。文字に修正が生じた場合は、本発明の修正ベン先を修正箇所に押し付けることにより修正液がにじみ出る。これにより簡単に修正箇所を消すことができる。

## 【0006】

【実施例】以下、本発明の第一の実施例を図1、2、3、及び4により説明する。第一の実施例ではペン軸(1)と修正液容器(3)とはプラスチック、ゴム、金物、ポリエチレン等でできた円筒管(2)でできた円筒管(2)に差し込まれ、接着剤により粘着されている。修正ベン先(5)には修正液(4)がしみ出るための穴が開いており、この穴の中には芯棒(6)が挿入されている。芯棒(6)の一端にはバネ(8)がついており、このバネ(8)により芯棒(6)は修正ベン先(5)の穴より露呈したり、埋没したりする。本発明を使用する際、記の場合は、従来のペンと同様にペンの部分を使用する。筆記に修正が生じた場合は、本発明の修正ベン先(5)より露呈している芯棒(6)を修正箇所に押し付けノックする。これにより、バネ(8)が縮み

2

芯棒(6)は修正ベン先(5)の中に押し込まれ、芯棒(6)とその回りを取り囲む修正ベン先(5)との間に隙間ができる。この隙間より修正液容器(3)に充填されている修正液(4)がしみ出る。この修正液(4)を修正ベン先(5)で伸ばすことにより、修正すべき文字が修正液(4)で覆われて消える。修正ベン先(5)には修正液(4)の乾燥防止用のためにキャップ(7)がついている。第二の実施例を図4で説明する。第二の実施例では修正ベン先(5)より露呈する部分に関し、図5に示すように芯棒(6)を穴の中に収納し、その芯棒(6)の先端に、ボールペンのベン先のように回転自由なボール(9)を当着させ、このボール(9)の一部分を露呈させた例である。その他は第一の実施例とかわらないので、同じ構成部品には同一番号を付してその説明は省略する。また、このように構成された修正液付きペンの使用動作も、第一の実施例と変わらないので説明を省略する。なお、ペン軸(1)の一端に修正液容器(3)を取り付ける方法としては上記以外に以下の方法がある。

イ. ペン軸(1)、あるいは修正液容器(3)のいずれか一方の一端を円筒管型にし、相手側の一端をこの円筒管に差し込み、または螺着させることにより、ペン軸(1)と修正液容器(3)とを連結させる。

ロ. ペン軸(1)と修正液容器(3)の接合部分を溶着させる。

ハ. ペン軸(1)の一端を修正液容器(3)として成型することにより一体化を行う。

二. 修正液容器(3)の一端をペン軸(1)として成型することにより一体化を行う。

## 【0007】

【発明の効果】本発明を使用することにより、文字等の修正時、別途に修正液を用意する必要なく、修正をその場で簡単に行う事ができる。

## 【図面の簡単な説明】

## 【図1】本発明の断面図

## 【図2】本発明の分解斜視図

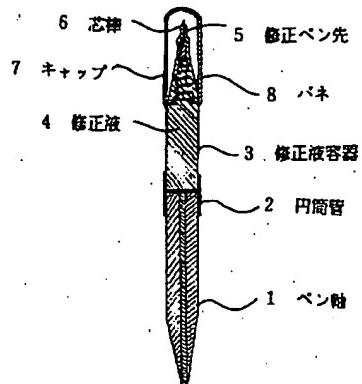
## 【図3】本発明の使用状態を示す断面図

## 【図4】修正ベン先の穴にボールを挿入させ、その一部分を露呈させた時の断面図

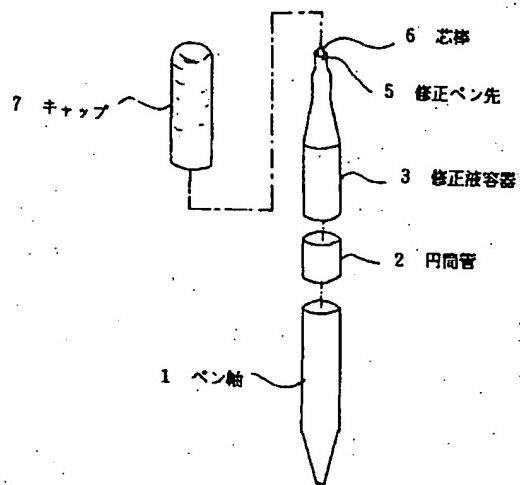
## 【符号の説明】

- 1 ペン軸
- 2 円筒管
- 3 修正液容器
- 4 修正液
- 5 修正ベン先
- 6 修正ベン先棒
- 7 キャップ
- 8 バネ
- 9 ボール

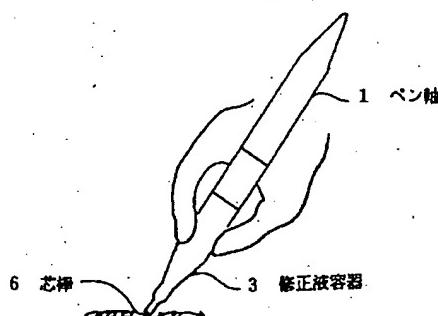
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

